

# 揖斐農林事務所の普及活動状況

令和3年3月25日現在

## 今月の重点課題

### ■揖斐郡3町、JAとの連携「営農連携会議」を開催～関係機関で次年度計画検討～

新たな「ぎふ農業・農村基本計画」の策定に伴い、農業普及課では、揖斐農業が新たな時代に向け、維持発展できるよう支援するため、5年ごとに普及指導基本計画書を策定している。3月4日に各町とJAで基本計画及び次年度計画について検討会を行い、農業普及課からは「普及指導計画」の課題や指導事項、達成目標等を説明した。各機関からは次年度事業について情報提供された。会議では、担い手育成、清流GAP、スマート農業、ブランド農産物の推進、鳥獣害対策などの取り組みについて意見交換を行った。

今後も農業普及課は、関係機関と連携し、揖斐地域ならではの普及活動を展開する。



【町・JAとの会議の様子】

## 多様な担い手づくり

### ■スマート農業 自動給水栓導入に向けた効果確認の検討

大野町更地方地区では、国の農業競争力強化農地整備事業を活用し、水田の大区画化とパイプライン化に併せたICT化を進めている。本事業では、ICT機器として自動給水栓の導入が計画されており、水管理作業の負担軽減が期待される。

農業普及課では、当地域の農業担い手に現在の水管理状況や作業時間の把握方法等について聞き取りを行った。

今後は、JAと連携しながら事業実施効果の確認を行う予定である。ICT化によるスマート農業の実現と農業経営の効率化・安定化に向けて支援を行っていく。



【農業担い手への聞き取り】

## 売れるブランドづくり

### ■茶 一番茶の萌芽予測及び防霜・病虫害防除対策

茶は例年、桜の開花と同時期に萌芽し、それから26日あまりで摘採を迎える。

春先の定期的な降雨、高温によって萌芽は早まっており、3月10日までの気象条件をもとにした予測法では、平年の4月3日に対して10日早い萌芽が予測される。

今後も気温が高く推移することが予測されるため生育が前進する可能性が高く、寒の戻りにより晩霜害が発生する危険性が高い。また、害虫の越冬量は多く、病虫害防除を徹底する必要がある。

これに対応し、農業普及課では気象・生育情報、病虫害発生情報の提供や、防霜ファンの適正稼働、適期防除の啓発を行っている。このまま順調に生育すれば4月下旬から摘採が始められ、店頭には4月内に新茶が並ぶことが期待できる。



【管内で一番早い萌芽の状況】

## ■いちご **品質向上・収量増加に向けて 生産者のスマート農業への関心がUPへ！！**

3月15～19日にかけて、各集荷場で春期の出荷に向けた目揃い会及びスマート農業の研修会を開催した。

いちご中間目揃い会では、春期以降の品質向上を目的として、関係機関から着色基準の順守や詰め方、農業普及課からは栽培上の注意点について情報提供した。

また研修会では、スマート農業の関心を高めるためにいちごの生理生態に基づいた環境制御を説明し、「聞いたことはあるけど、取り組み方がわからなかったが自分の経営で取り組む要素はある」、「やれることから取り組んで改良してみよう」など活発な意見交換があった。

今後も農業普及課では、産地が活性化するよう引き続き支援を行う。



【いちご目揃い会の様子】

## ■かき **かき振興会技術部会が開催される**

大野町かき振興会の技術部会が3月24日に開催され、4月の栽培管理について検討された。2月下旬から高温で推移しており、「西村早生」、「富有」の発芽が平年に比べかなり早い時期となり、晩霜害対策を中心に病害虫やR3産の良質な柿の生産に向けて検討された。農業普及課から晩霜害対策や病害虫防除等の栽培管理について説明した。またR3年度の調査内容やGAPの取り組み推進等情報提供を行った。

今後も気象状況等参考に園を観察し、引き続き栽培支援を行っていく。



【柿振興会技術部会の様子】

## ■加工業務用タマネギ **揖斐郡全域で生育状況確認**

J A いび川管内では、加工業務用タマネギの栽培に取り組んでいる。3月9日にJ A いび川、J A 全農岐阜、県で連携し生育状況等を確認するため現地巡回調査を実施した。

べと病やアザミウマなどの病害虫の発生状況や排水、除草管理等について確認した。これから生育ステージが進むとともに病害虫の発生等も懸念されるため、関係機関と連携しながら、高品質な玉ねぎの生産に向けて支援していく。



【タマネギの生育調査】

## 住みよい農村づくり

### ■地域特産物 **揖斐の新たな特産品づくりへ**

これまでに沢あざみや唐辛子、わさびなど地域特産物として栽培してきたものなど支援を行ってきた。これらを新たなブランド化や魅力をPRしていくためには、関係機関と連携協力し、一体となって推進していくことが必要となってくる。

そこで3月10日に担当者が集まりチーム会議を行った。会議では、今年度の活動状況や来年度の活動計画など情報共有した。今後も適時チーム会議などを開催し情報共有を図りながら、関係機関と協力し、ブランド化に向けて支援を行っていく。



【チーム会議の様子】